

福祉環境委員会記録

令和6年6月17日（月）
12時01分～12時46分
第2委員会室

【委員】三浦委員長、肥後副委員長、
柳楽委員、串崎委員、上野委員、布施委員、川神委員

【執行部】

〔健康福祉部〕久保健康福祉部長、河内地域福祉課長

〔市民生活部〕井上市民生活部長、小松環境課長

〔上下水道部〕佐々木上下水道部長、右田水道管理課長

【事務局】久保田書記

議 題

1 所管事務調査事項について

- | |
|---|
| (1) 障がい者の文化芸術活動の現状について
(2) 浜田市社会福祉協議会が実施する介護サービス事業（指定訪問入浴介護、通所介護）の現状について |
|---|

2 6月26日(水)の委員会審査日程等について

3 その他

4 地域井戸端会に寄せられた意見への対応協議について（委員間で協議）

5 行政視察について（委員間で協議）

6月26日(水)10時開催の福祉環境委員会における予定議題

- 1 請願審査
 - (1) 請願第12号 訪問介護の基本報酬引き下げ撤回等と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書の提出について
- 2 陳情審査
 - (1) 陳情第149号 市税の滞納者が市のサービスを受けることができないことに関する陳情について
- 3 議案第36号 浜田市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について
- 4 議案第40号 浜田市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について
- 5 執行部報告事項
- 6 所管事務調査
- 7 その他
- 8 地域井戸端会に寄せられた意見への対応協議について（委員間で協議）
- 9 行政視察について（委員間で協議）

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[12 時 01 分 開議]

○三浦委員長

ただいまから福祉環境委員会を開会する。出席委員は7名で定足数に達している。ではレジュメに従って進める。

1 所管事務調査事項について

○三浦委員長

6月26日水曜日に開催する当委員会における所管事務調査事項として、委員から執行部に説明等を求めたい事項があれば申し出てもらいたい。

○柳楽委員

障がい者の芸術の部分はここの委員会で良かったか。教育委員会などになるだろうか。

○三浦委員長

具体的にはどういった内容か。

○柳楽委員

障がいをお持ちの方もアートや手芸などの才能があって取り組んでおられる方もおられるが、地域の皆にもなかなか知られてない。障がいをお持ちの方も地域の皆と一緒に何かしらできる場が必要なのかと思う。現時点でそういう場があるのかどうかの現状から、例えば今後まちづくりセンターを活用して展示などを積極的に行えるような取組につなげていけたら良いのではないかと考えているのだが。

○三浦委員長

障がいをお持ちの方々が取り組んでおられる表現活動などが、市内でどれくらい展開されているか及びそれに対するサポートや支援等をされているなら、それについての現状を伺いたいということか。何か執行部からあるか。

○健康福祉部長

正直、現状そういった把握はできてない。どういった活動があるのかなども、いろいろ聞いてみないといけない。現状をお知らせする形でよろしいか。

○布施委員

高齢者クラブなどで情報がある場合は、各地域の文化祭に対して健常者も障がい者も作品を提出して展示会をする取組はされているが、それが広がってないのは事実である。社会福祉協議会の運営委員会の中でも障がい者団体がおられる。昔は浜田市も福祉大会やいろいろな展示会もあったらしい。各地区の取組は結構あると思う。それが全体でどのくらいあるかということかと思う。

○三浦委員長

私が知る限りだが、いわみ福祉会がおそらく県の事業を受託されて、障がいを持つ方が作られた絵画などの作品を展示している。県立美術館かどこかで数年前に展示

会をされたこともある。今それを受託されているか、自主的にどのようにされているかは分からない。

美川ではダウン症の方々が通って表現活動をサポートする活動をされている方がいる。そこもいわみ福祉会と一緒に事業をされるなど関係性がある。知る限りのことなのでほかは分からないが。

○柳楽委員

いわみ福祉会がその事業をされているがなかなか広がっていかず、そのみの活動になってしまう。地域に広げていきたい。

○三浦委員長

それをどう調査してもらえば良いのか。

○柳楽委員

現時点において地域でそういった取組がされているのかどうか。障がいを持っている方の取組はどうしても限られた場所になっていると思う。それを地域の皆にも知ってもらい、一緒に何かしらできる場も必要かと思う。文化・芸術というのがこの委員会ではどうなのだろうか。

○三浦委員長

それは対象になっている方々の、活動の一環としてそのような出口を見据えて地域なり法人なりが活動されているかどうかということであれば、この所管だと思う。ただ、現状の報告がどれくらいできるかだが。

○健康福祉部長

どうやって現状を確認していくかになるが、可能なところで考えてみる。

○柳楽委員

国府まちづくりセンターでは、養護学校がある関係もあって何かしらされていたかもしれない。

○三浦委員長

柳楽委員から提案があった、障がいを持つ方々の文化・芸術における市内での活動状況について執行部から報告いただくよう、所管事務調査として取り扱うということではよろしいか。

(「はい」という声あり)

では、担当部局におかれては、そのように可能な限りで報告をお願いします。そのほかあるか。

○川神委員

移動入浴車の現状に関しては所管事務調査になるか。一時は市民も含めて非常にヒートアップした議題だが、その後ある程度の流れで進んでいると思う。当時の執行部からは、利用が増えるような取組をしながら有効的にこの事業を進めていくといった発言があったと記憶しているが、あまり浸透していないという話も聞く。今後の事業展開も含めて現況をどのように捉えているか、所管事務調査としてお願いしたい。

○三浦委員長

よろしいか。

○健康福祉部長

直近の利用状況と現状の取組について報告させてもらう。

○三浦委員長

今の訪問入浴の話だが、同じときに野原デイサービスの話も出ていたかと思う。そこも含めて、その後の現状がどうなったか併せて報告いただく形でもよろしいか。

○健康福祉部長

はい。

○三浦委員長

昨年度末あたりで議論になった訪問入浴の継続並びに社会福祉協議会が継続は難しいと言われていた事業の現状について、市がサポートしていることになっていると思うので、その進捗を伺うということで皆もよろしいか。

(「はい」という声あり)

では2点目としてこちらも報告をお願いします。そのほかよろしいか。

(「なし」という声あり)

では、所管事務調査については以上2点の報告をお願いします。執行部もそれについてはよろしいか。

(「はい」という声あり)

2 6月26日(水)の委員会審査日程等について

○三浦委員長

当日の審査予定はレジュメの枠内に表示されている。確認をお願いします。議題の順番だが、請願・陳情が出ているのでそれらの方々へ配慮することとし、これまで同様に委員会ごとに請願の審査・採決、陳情の審査・採決を行い、議案審査とすることとしているのでご承知願う。

議題1の請願審査について。1件請願が付託されている。審査を行い、その後採決という流れになる。請願第12号「訪問介護の基本報酬引き下げ撤回等と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書の提出について」である。福祉環境委員が紹介議員になっている。当日は紹介議員に質問しても大丈夫である。そのほか、委員会として参考人招致の必要があるかどうか皆にお諮りしたいがいかがか。

(「必要なし」という声あり)

必要ないとのことなので、参考人招致は行わないこととする。

続いて、審査の参考のためこの請願について当日の委員会で執行部に確認したいことがあるか。

(「なし」という声あり)

では執行部に確認したいこともないとのことなので、当日の請願審査を進める。よろしくをお願いします。

続いて陳情審査である。1件の陳情を付託されている。これも審査を行い、その後

採決を行う。陳情第149号「市税の滞納者が市のサービスを受けることができないことに関する陳情について」である。これについて参考人招致の必要があるかどうかお諮りする。皆いかがか。

(「なし」という声あり)

では参考人招致は行わないこととする。

続いて、審査の参考のためこの陳情について6月26日の委員会当日執行部に確認したいことがあればどうぞ。

○柳楽委員

陳情を拝見した後にホームページ等で調べてみたのだが、実際に滞納者が受けられなくなるサービスについて、実際にそういうものがあるのかどうかを含めて教えてもらいたい。

○市民生活部長

基本的に制限しているサービスは補助金交付などが多いと思う。個人で滞納がある方が申請された場合には、補助金交付している担当課から調査があり、滞納の有無を回答している。納付をすれば補助金対象になるといった事例もある。福祉や教育的なものについては制限対象から外しているの、そういう分野では制限が掛からない状況になっている。

○柳楽委員

そのことについて説明いただければ良い。

○三浦委員長

何が対象となって、どうなのかという説明をお願いします。そのほかにあるか。

○肥後副委員長

私はこの陳情を読んで思ったのは、軽自動車の車検が受けられないくらいかと思った。普通車は県税で軽自動車は市税、具体的なものは願意に書いてないので。

○市民生活部長

納税証明書を持っていかないと継続検査が受けられないことになっているが、それは車検制度の話であり市のサービスの制限とは違うところにあると思う。

○三浦委員長

では柳楽委員から問われた部分の説明をお願いします。そのほかいかがか。

(「なし」という声あり)

では、そのように対応をよろしくをお願いします。

委員会での請願及び陳情の審査においては、請願・陳情の審査基準に基づいて各委員が判断することになる。判断基準は統一するが、採択・不採択等は各委員で陳情書の趣旨をしっかりと踏まえた上で判断いただき、反対の場合にはその理由を明確にしてほしい。従来どおり反対理由は請願者及び陳情者へ通知されるし、ホームページにも掲載される。

また、委員会で採択とした請願及び陳情については、所管事務調査も含めて当日の委員会で対応を検討することになるので、よろしくをお願いします。

次に議題3及び4の付託議案の審査を行う。2件の市長提出議案について審査を行っていく。その後、議題5執行部報告事項、議題6の所管事務調査を行う。執行部からの報告事項は今のところ10件、その他に資料配布のみが1件と聞いている。執行部から提出に至った背景やポイント等を説明いただき、その後質疑を行う。委員は事前に資料の熟読をお願いする。所管事務調査だが、執行部におかれては先ほどの2件について資料と当日の説明をお願いする。

以上が6月26日の審査当日の予定議題である。委員及び執行部から何か質問等はあるか。

(「なし」という声あり)

3 その他

○三浦委員長

執行部から何かあるか。

(「なし」という声あり)

委員から何かあるか。

○川神委員

市民から、最近、長浜の日本製紙のチップ船が入ってきて、小学生が臭いによって気分が悪くなったという報告があった。1年前同じことがあり、それは間違いなくバイオマス燃料の備蓄が腐敗しているということで、市長名で長浜各町内に文書が出ているのだが、今年もまたそのような話があった。どの程度なのかは私には分からないが。去年文書が配られて努力はいろいろされているのだろうかと言われた。何かコメントがあればいただきたい。

○環境課長

今言われるように、昨年ヤシ殻の臭いが長浜町に流れてたくさんの苦情が来た。それを受けて浜田港を管理している港湾振興センター、県施設、事業所とも協議を重ね、何とか昨年度は消臭剤をまくなどして臭いを止める取組を行ってもらい、8月終わり頃には臭いが収まる状況にはなった。引き続き検討するというので昨年は協議を終えていたが、先週12日水曜日に長浜の方から3件、その翌日に1件、苦情の電話が入った。それを受けて金曜日に県の港湾振興センターとも話をし、また事業所も浜田市へ来られたので、荷物を取り扱う事業所との協議を行った。

環境課としては、やはり住民からこのように苦情がある以上、何とか対処をお願いすると、県にも事業所にもお願いした。その話を受けて、また県と事業所とで金曜日の夕方に話をしたと聞いている。どういった内容だったかは先ほど午前中に県へ連絡して確認している状況である。

次の荷物が9月に入ってくるので、それまでの対応をしっかりと事業所なり県なりにしてもらおうよう、引き続き連絡していきたい。

○三浦委員長

次の委員会のときに、金曜日に対応してどうなったか、進捗を報告してもらいた

い。

ほかに皆から何かあるか。

(「なし」という声あり)

では、執行部はここで退席されて構わない。

(執行部退席)

4 地域井戸端会に寄せられた意見への対応協議について (委員間で協議)

○三浦委員長

議会広報広聴委員会から、地域井戸端会に寄せられた意見等について各常任委員会において協議し、各会場に掲示する回答を作成するよう依頼があった。議会広報広聴委員会への提出期限が6月28日金曜日となっているため、本日と26日の委員会で回答内容を協議したい。これについて、事前に配付してもらった整理したシートは見てもらっていると思うが、どのように整理していくか意見があれば伺いたい。

○布施委員

どの会場でも言葉は違えど似たような趣旨の意見が出たと思う。一つ目は、専門医を初めとする医師確保対策と病院存続の問題についてよく出ていたと思う。もう一つは広域医療の連携。病院の医師確保など。福祉環境委員会が今後取り扱っていく取組課題としての問題も出ているのではないかと思う。2番目として、草刈りやごみ処理の問題。ごみステーションの問題もあろうし、市民の意識が高まる取組をもっとすべきという話があるように思う。九州の日置市やリサイクル日本一の大崎町の件もあって、同じようなことが住民からも問題として上がってきているように思う。

これは少数意見かもしれないが、高齢者が過ごしやすい多様な空間での環境に配慮した居場所づくり。これは総務文教委員会も関係するかもしれないが、そういった意見もあったかと思う。また、下水道整備についても上がったと思う。もう一つ、トイレ環境問題。市のトイレ洋式化やオストメイトトイレなどの多目的トイレの充実といった問題が出ていたのではないか。

カーボンニュートラルの環境デザインが見えない。浜田市はゼロカーボンシティを宣言しているが市民まで浸透してないといった問題も出ているのではないか。

以上、回答になるか分からないが、この辺を私としては思った。

○三浦委員長

ほかにどうか。気になったところは。

○串崎委員

違法投棄はどうなのかと思った。あと草刈りについてたくさん出ている。多くの意見が出るのに放置というのは難しいだろう。

○上野委員

交通関係がすごく出た。どこに行っても交通関係の話が出た。1回浜田へ行くだけで1万円掛かる。敬老乗車券がすぐなくなり、少々増やしてもらってもだめだと。そ

うまでしても行ける人は良いが、行けない人がいるのではないかという質問があった。しっかり把握されているのかと。

また、どこへ行っても草刈りが大変だという話だった。

○川神委員

医療の問題は交通手段も含めてトータルで、結局は県外に出て行って地元に残らないという構図はなかなか変わらないので、先行きが非常に不安だと。医療福祉の問題はどこの会場に行っても不安材料として出てきた。それに対して、医師確保の問題も介護問題もそうだが、切り札に乏しい。どのような方向へ向けて力を使っていくのか、方向性をきちんと示すのが一番の回答かと思う。

○柳楽委員

医療介護従事者の問題は地域の皆も危機感を持っておられて、従事者確保のためには何かしらインセンティブのようなものがないと難しいのではないかという意見もあった。現在、当委員会で行っているものの中の、環境住宅は国も今そのような事業をやっていて、直接事業者と施主がやり取りする形にはなっているが、予算がなくなったらすぐ打ち切りのようで、いざこれを利用しようと思ったら終了していたということもある。市は今、若者向けの住宅補助をやっているが、対象年齢を少し上げてもらうなどして補助してもらえたらという話もあった。

また、ごみについての環境問題で、市民の意識付けをもう少しできる形にしたほうが良いという話も出てきた。

ハラスメントの話も出た。そういうものが役所内もそうだし一般的な事業内でもあるので、皆に研修などもやったほうが良いのではという話が出ていた。

○肥後副委員長

私が伺った先でも、環境をテーマに話をすると草刈りの話がどうしても出てくる。突き詰めていくと総務文教委員会の所管になる話にどうしてもなるのだが、環境保全活動ということなら、やはり当委員会の所管なのかと結構悩むところだった。実際に草刈りをしっかりしないと地域が荒廃して、害虫被害や景観が悪くなる。それ以上に住みにくくなる。したがって、やはり環境保全という観点からどうすべきか。皆が一番身近な問題はそこなのかと思った。地域を守ってもらっているという意味でも。

私は草刈りをテーマに話を振ってみたのだが、結局、現状のガソリンスタンドの存続、地域インフラとして確保してほしいという話になった。大まかに言えば、草刈りの際にガソリンスタンドで混合油を作ってもらわなければならないが、ガソリンスタンドとしてはもうからないのでなるべくやりたくない。したがって電動にすればどうかというが、それでは間に合わない、買替え費用が必要だということで、現状のガソリンスタンドをそのまま残してほしいと言われる。普通に考えれば産業建設委員会の所管になるのかもしれないが、燃料はカーボンニュートラルの大前提部分にあるため、10年後、20年後の観点をよくよく皆と考えないといけない。

また、下水についても散見した。これも難しい。接続費用の補助を出してないわけではないが、市の話と個人とで認識の違いがどうしてもあるのと、もう一つは、高

齢化している住民が、本当は下水に接続したいが子どもから反対されるという話があった。確かに多い話だと思う。しかし市としては本管に接続してもらわないと、費用を掛けただけで回収ができない。

あと、先ほどからあるように自由意見において医療についてあった。都川の個人医院がやめられ邑智病院の分院になるのだが、やはり訪問診療がなくなるから、今までと同じように医者顔を見るのが楽しみで行くといったこともなくなっていくという感情的な部分もあるが、それ以上に邑南町へ行くとなると市外になるので、継続的な補助や乗合バスの運行などをしてもらえるのかという心配があった。

○三浦委員長

委員会としての見解を各まちづくりセンターへ戻していくことになると思うが、一つ目として、地域医療への不安や病院の存続など地域医療に関する部分は意見が出ていたようだった。これについては、当委員会でそういった点に問題意識を持って、特に総合診療医の獲得をどうするか、育成をどうするか、医療MaaSの可能性を研究するよう今取り組んでいるので、そういったところを具体的に研究しながら課題解決に向けて委員会としても見解を示していきたいということで、まだ結論が出ている状況ではないので、そういった方向でお戻しできるのではないかと考えている。

それから特に今回は環境について、各会場で聞いてもらったかと思う。ごみ問題は私が伺った会場でも、環境の意識啓発が必要だということで、例えば食育からフードロスのお話をされた方もおられた。そういった身近なところから環境にやさしい暮らしを一人一人がやっていくことも大事ではないかと言われた。また、高齢者の方々のごみ出しの不安なども結構複数出ていた。今日はテーマを整理してこのあたりを皆に持ち帰ってもらい、今後どのように取り組んでいくか方向性について皆それぞれ意見をいただいて、次回にまとめていきたい。

もう一つ、下水道や公共トイレの話については公衆衛生の部分かと思う。これに合併浄化槽の普及についても加えて、皆は今どのように考えているかも併せて意見を出してもらい、まとめて返していく。

大きく分けて、環境への取組を今後どう進めていくかと、地域医療の課題をどう解決していくかと、公衆衛生というくくりが良いかは分からないが下水道、浄化槽、公衆トイレなどのあり方についてどうなのか。以上3項目という形で戻していくのはどうだろうか。

(「良いと思う」という声あり)

今話したようなことを、項目を整理してまた皆に投げるので、各項目について見解を書いてもらって、それをまたまとめて委員会として戻していくということでまとめたいと思う。交通や高齢化によって草刈りが難しいという話は、どこでも多分聞かれたと思うが、ここは一旦当委員会の所管事項に限って戻したい。

次回の委員会までに気付いた点があれば加えて連絡いただければ、それも次回の委員会で協議したい。よろしく願います。

5 行政視察について（委員間で協議）

○三浦委員長

2点ある。1点目、各受入れ先への質問事項についてだが、皆には24日の17時まで提出をお願いしている。次回26日の委員会で皆から提出された質問をまとめて確認を行った後、受入れ先へ提出する予定である。受入れ先へのできるだけ早い提出に向けて、期限内の提出への協力をよろしく願います。

2点目、委員派遣報告書の作成について。行政視察を行った際には委員派遣報告書を作成し、また、行政視察レポートを作成し全員協議会において報告することになっている。まず委員派遣報告書については、視察終了後に委員から所感を提出していただき、委員会の考察を協議し報告書等を作成する。視察を終えての所感を7月31日水曜日正午までに事務局へ提出してもらいたい。8月6日火曜日の委員会において委員会の考察を協議し、報告書をまとめたい。

役割分担については確認になるが、まず福岡地域戦略推進協議会においてS I Bを用いた認知症予防やがんの早期発見事業について視察するが、これは柳楽委員。作業療法士との意見交換でローレンに伺うが、これは上野委員。日置市の生ごみリサイクル堆肥化について伺うが、これは布施委員。大崎町における支援リサイクル率日本一の取組については串崎委員に担当いただき、行政視察レポートのまとめは正副委員長で行うので、協力をよろしく願います。なお、行政視察レポートは8月19日月曜日の全員協議会で報告する予定である。

その他、委員から何かあるか。

○上野委員

先般の地域井戸端会においてすごく気になったのだが、三隅の奥へ行った際、川をきれいにしてくれるから、漁師がすごくうれしいと言って草刈りに来てくれたと。また、木田の会場では、八戸川の組合長が、400人くらいの組合員が川をきれいにすることを再々するらしい。そうしたら漁協関係者が、漁師との交流というか、話をしなければ、漁師はそのようなことは実際知ってはない。水が流れてくるのが当たり前だと。だからそのような交流を持てば、もっとお互いに良い気持ちになるのではないかという話で盛り上がった。

○三浦委員長

大事な報告だと思う。そのような場がどのように持てるのかについて協議していくのも大事だと思うし、上野委員が心に残った活動として、例えば現在、議会広報広聴委員会で市民対談をやっているが、あちらに提案してみるのも良いかもしれない。委員会は情報共有の場でもあると思うので、また皆も気づいた点があればぜひ共有をお願いします。

そのほか何かあるか。

（ 「なし」という声あり ）

では次回の日程を確認する。今回は6月26日水曜日、午前10時から全員協議会室で開催する。

以上で福祉環境委員会を終了する。

[12 時 46 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

福祉環境委員会委員長 三 浦 大 紀